

当消防本部では定期的に このような訓練を行っています。



平成21年5月23日（土）、和水町においてネクサス株式会社のご協力により、マグネシウムを燃焼させ、その燃焼状況及び消火実験を実施しました。
当管内にはマグネシウムを扱う工場が2ヶ所あり、火災が発生した場合の火災防ぎょ体制の確立及び二次災害の防止等、大変有意義な実験となりました。



平成21年6月11日（木）、和水町久井原の旧第2清掃センター跡地においてプロパックを使用した車両消火訓練を実施しました。
プロパックとは水と泡消火薬剤を混合し、泡を発生させる消火機材です。
この訓練では、実際に廃棄車両を燃焼させ、プロパックにより消火訓練を行った後、実況見分の要領を学習しました。
車両から火災が発生した場合の火災防ぎょ体制及び、鑑識要領のポイントを学習し、大変有意義な訓練となりました。

救助技術大会

第35回熊本県消防救助技術大会（陸上の部6月2日、水上の部7月6日）が開催されました。この大会は複雑多様化する災害等に備え、日常、実施している救助隊員の訓練を通し、県内各消防本部の隊員が一同に会し、安全、確実、迅速な救助活動を行うため、救助技術の向上を目的としたものです。当消防本部から選考会を突破した精鋭隊員達が、団体種目に11チーム、個人種目に6人が出場しました。

その結果、見事県大会を突破し陸上の部から団体種目（障害突破）1チーム（上田副士長、的場副士長、牛島消防士、大村消防士、西本消防士）が九州大会に、また水上の部から団体種目（溺者救助）1チーム（高木副士長、三澤消防士、坂梨消防士）が全国大会に出場しました。



陸上団体種目(障害突破)的場隊員チーム



水上団体種目(溺者救助)坂梨隊員チーム

あなたの家にはもう住警器は付けましたか？

今お住まいの住宅は平成23年5月31日までに設置が必要です。
大切な命を守るため早目の設置をお願いします。

みんなで付けよう住警器

全国では毎年、住宅火災で1,200人近くの方が亡くなっています。中でも65歳以上の高齢者が半数以上を占め、時間帯別では、寝ている時間の死者数が多くなっています。そのためにも、住宅火災のみはり役として住宅用火災警報器(住警器)を設置しましょう。平成16年10月号から連載していますが、今回は取付方法について紹介します。

購入先は、家電販売店、ホームセンター、防災機器取扱店、及びガス機器販売店などで販売されています。住警器の詳細についてはお近くの消防署までお問い合わせください。

～ お 願 い ～

現在、管内の住警器の普及率は説明会、講習会の機会をとらえたアンケートをもとに推計しており、普及率は18%(平成21年1月31日現在)です。正確な普及状況を把握し効果的な施策展開を図るため、訪問調査、郵送または電話によるアンケート調査を今後実施します。調査世帯は無作為に抽出し、半年ごとに平成23年まで継続予定です。調査にご協力ください。

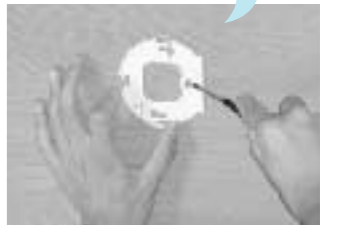
天井への取付

部品と本体とベースとネジです。



①住警器の部品です。

壁から60cm以上離します。



②ベースをネジで止めます。



③本体を回してカチッと合はめる。

最後に動作のテストをして完了です。



実際に取り付けてみました



秋の火災予防運動が11月9日(月)から15日(日)までの一週間にわたり、全国一斉に実施されます。昨年は、42件の建物火災が管内で発生しています。これから、火災が発生しやすい時季を迎えます。みんなで、家の周りをチェックし、火災の発生を防止しましょう。

平成21年度全国統一防火標語
「消えるまで ゆっくり火の元をにらめっ子」



平成21年度 第3回危険物取扱者試験

試験日 平成22年2月14日(日)

願書受付(予定) 平成22年1月5日(火)～1月15日(金)

※問い合わせ先 有明広域行政事務組合消防本部 予防課 TEL 0968-73-5273